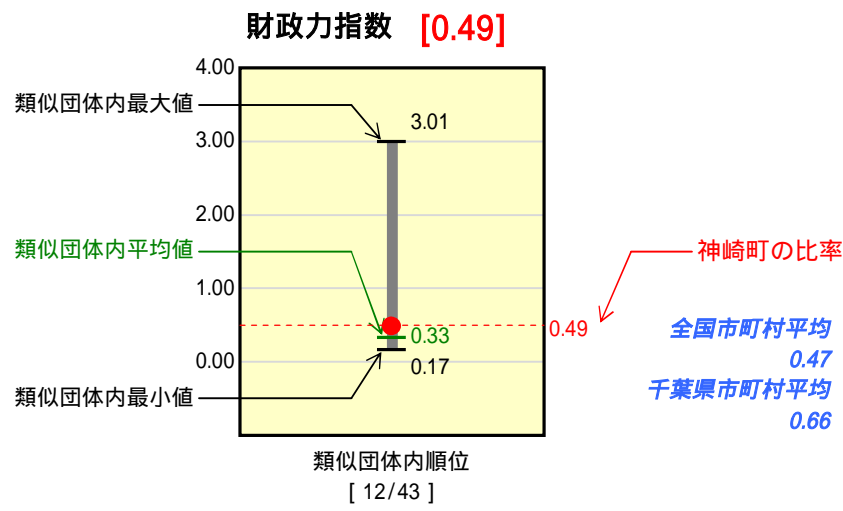


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

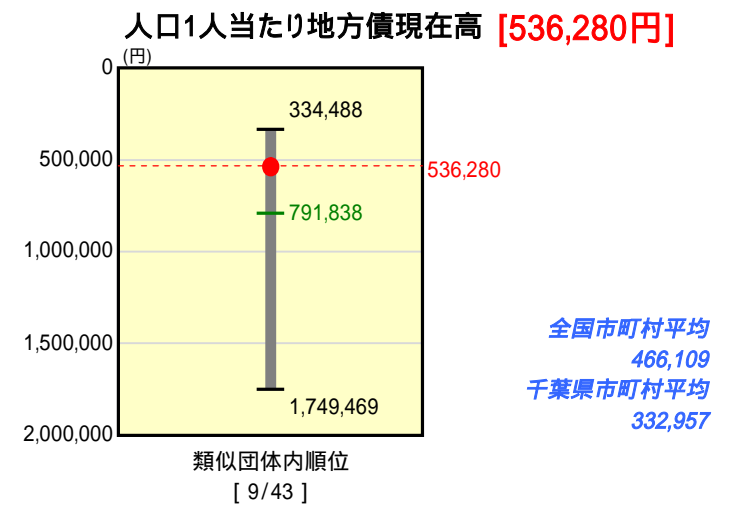
## 千葉県 神崎町

人口	6,743人(H17.3.31現在)
面積	19.85 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,521,955千円
歳出総額	2,419,427千円
実質収支	100,375千円

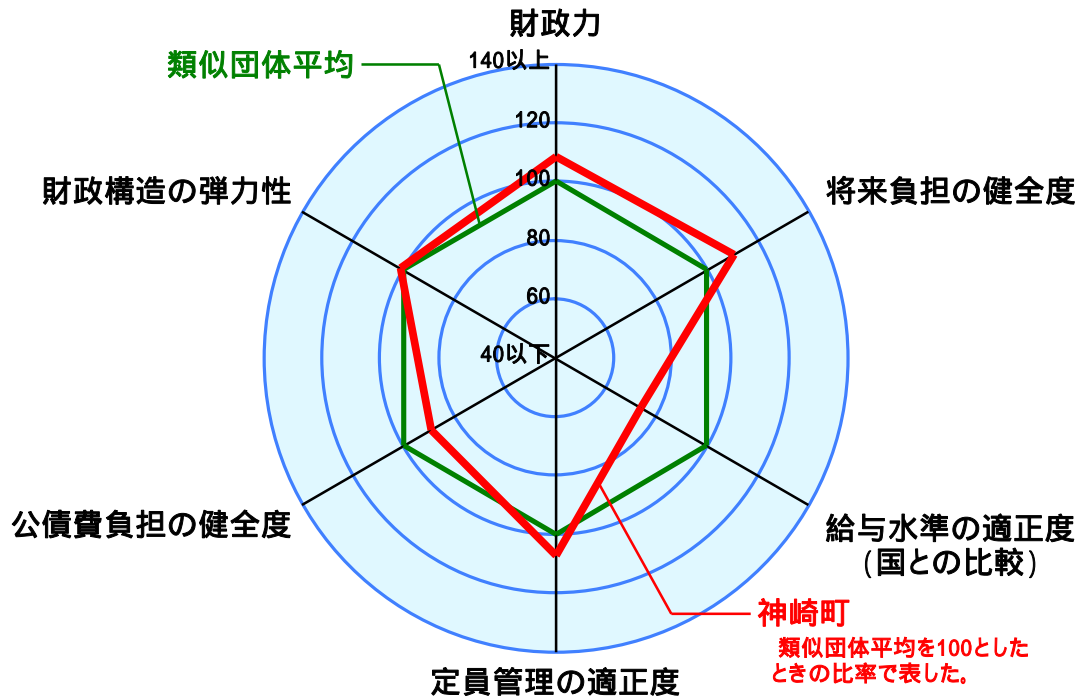
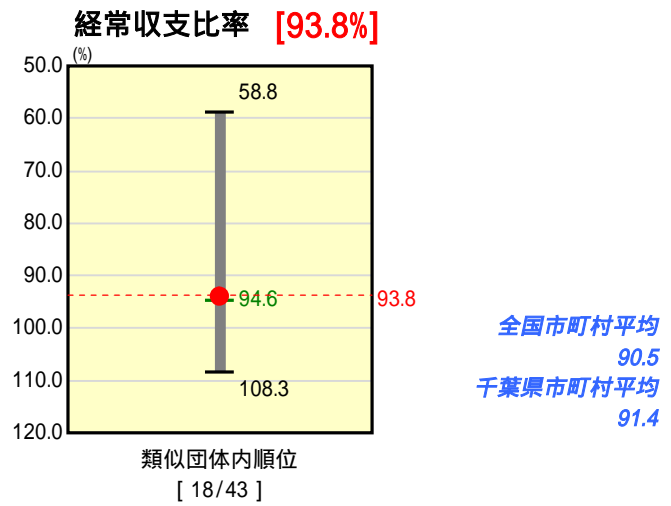
### 財政力



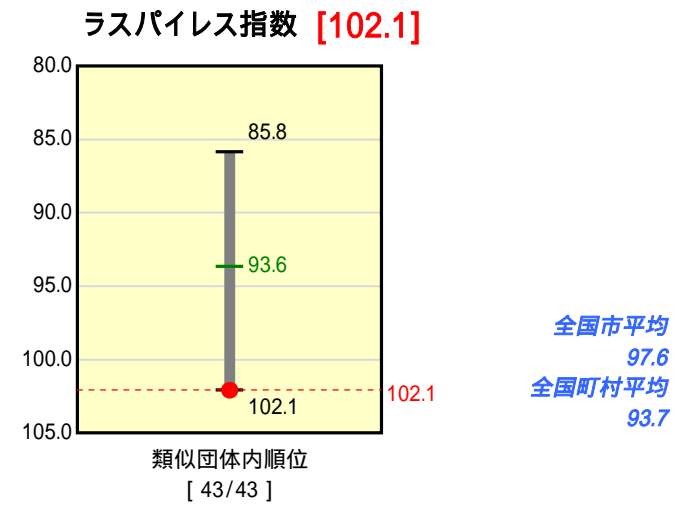
### 将来負担の健全度



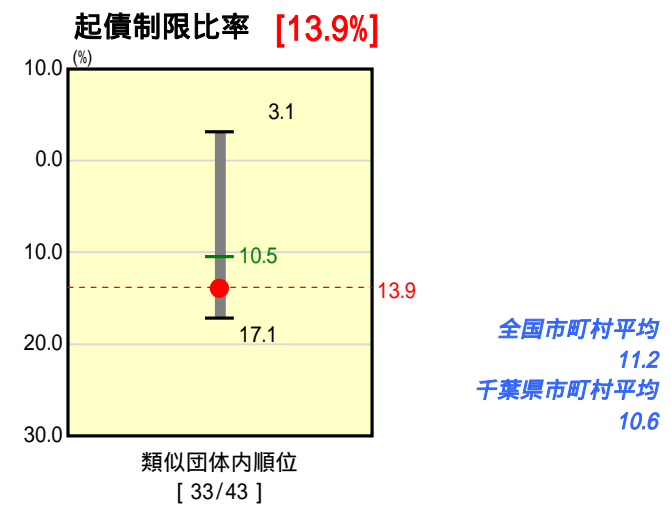
### 財政構造の弾力性



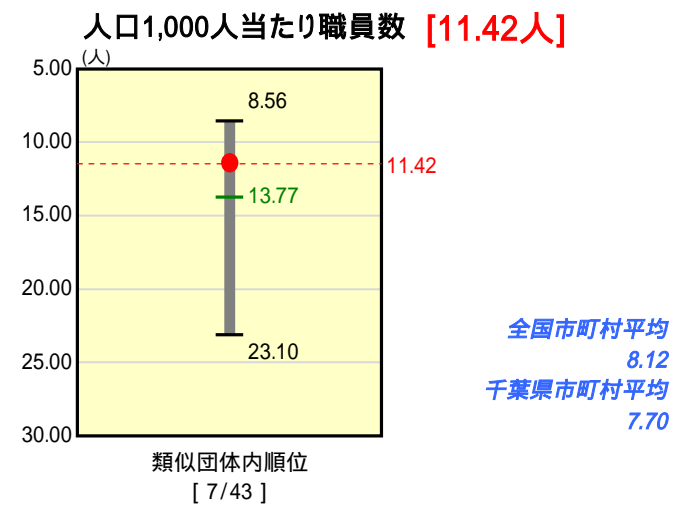
### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度



**分析欄**

**(財政力指数)**  
ここ3年間においては、わずかではあるが連続した伸びを見せており、類似団体平均を上回る0.49となっている。税徴収率については、今後も高い水準を維持するとともに、「集中改革プラン」による歳出削減(5年間の累計で約5億6千万円)を実施し、財政の健全化を図る。

**(経常収支比率)**  
平成14年度から大規模事業に伴う公債費が増加したため、比率が急激に高くなっている。(H13:88.5% H14:94.2%) 人件費や物件費等の経常経費の削減を図っているため、類似団体平均をわずかに下回っているが、扶助費は年々増加傾向にあるので、起債の抑制による公債費の減と、人件費については「集中改革プラン」に掲げたとおり、新規採用の抑制による職員数の減(5人)等により、義務的経費の削減に努める。

**(ラスパイレス指数)**  
旧来からの給与体系により類似団体を上回る102.1となっている。全国的にも高い水準にあるため、55歳以上の職員の定年前退職促進と定員適正化計画による計画的な採用を行うとともに、新規採用職員に対する特別昇給の廃止(平成17年7月実施)等により給与の適正化に努める。

**(起債制限比率)**  
ふれあいプラザ建設事業(平成10年度～13年度)や下総神崎駅周辺整備事業(平成9年度～15年度)に伴う起債の償還により平成15年度から急激に上昇し、類似団体平均を上回る13.9%となっている。平成19年度をピークとして平成24年度までは高い状態が続くが、平成25年度以降は急激に起債の償還が減るため、平成24年度までは投資事業による新規発行を抑制する。

**(人口1人当たり地方債現在高)**  
類似団体平均は下回っているが、平成10年度から13年度にかけて実施したふれあいプラザ建設事業(総事業費19億6千万円、うち起債13億7千万円)と平成9年度から15年度にかけて実施した下総神崎駅周辺整備事業(総事業費5億4千万円、うち起債4億7千万円)により全国及び県市町村平均を上回っている。これらの事業に係る起債の償還がほぼ完了する平成24年度までは新規地方債の発行を抑制する。

**(人口1,000人当たり職員数)**  
過去からの新規採用抑制により類似団体平均を下回っているが、職員数については今後5年間で5.7%(5人)の削減を目標とする。